

元気なまちかど

No.1 自由に楽しく色とりどりに キッズランド こいのぼり作り

未就園児を対象とした「キッズランド こいのぼり作り」が4月19日、甲賀子育て支援センターで催されました。この日は14組の親子が参加し、紙でできたこいのぼりに色とりどりの折り紙を貼り付けたり、カラーペンで色を塗ったりと、思い思いのこいのぼりを作りました。子どもたちは出来上がったこいのぼりをうれしそうに眺めながら、最後はみんなで「こいのぼり」の歌を歌い、少し早く「こいのぼり」を楽しみました。



▲こいのぼりに色をつける親子

No.2 水口ばやしと勇壮な「宮入」 水口曳山祭

「水口曳山祭」が4月19日・20日の2日間、水口神社一帯で行われました。

江戸時代中期に起源を持つこの祭礼は、市内唯一の曳山祭で、現在16基の曳山が残っています。今年は4基がテンポのよい「水口ばやし」を奏でながら街中を巡行しました。

境内に到着した曳山は、詰めかけた多くの観客に迎えられ、勇壮な「宮入」に大きな歓声が上がりました。

夕方には曳山の提灯に明かりが灯され、辺り一帯が幻想的な雰囲気になりました。



▲水口神社に到着した曳山

No.3 毎日の体操で健康な体作りを 信楽中央病院健康塾

信楽中央病院主催の健康塾が4月20日、信楽保健センターで開催されました。

これは毎月第3水曜日に開かれている講座で、今回は「高血圧」をテーマに、約20人が参加しました。

中島院長から高血圧の原因や症状、予防方法などの説明があったほか、参加者は正しい血圧の測定方法や基準値について学びました。

最後は理学療法士の指導による体操も行い、健康な体を作るための知識を深めました。



▲理学療法士指導の体操に挑戦する参加者



▲お披露目された人形メリー(左)と妹ナンシー(右)

No.4 青い目の人形「メリー」の「妹」お披露目 ナンシーちゃん来日レセプション

青い目の人形は、約90年前に日米友好の証としてアメリカから約12,700体が日本に贈られました。

戦争でその多くが処分されましたが、甲南第二小学校には当時配られた「メリー」という名の人形が現存し、今も日米親善と平和を語る資料として大切に保存されています。

このことを知ったアメリカのグーリック3世らから、この度「ナンシー」と名付けられた新しい人形が同小学校に寄贈され、4月24日に忍の里プララでお披露目がされました。

「メリー」と妹の「ナンシー」は、新たな友好と平和の象徴として、NPO法人「甲賀文化輝き」の歌や踊りと会場からの温かい拍手に迎えられました。

No.6 甲賀流忍法着せ替えの術 信楽大たぬき忍者衣装に変身

信楽高原鉄道信楽駅前の大たぬきが、4月26日に忍者衣装に着せ替えられました。

毎年観光客でにぎわう信楽駅前陶器市にあわせ、信楽焼と忍者をPRしようと、「甲賀観光未来会議」が初めて企画したものです。

胸元に「甲賀流忍者」と書かれた紫色の忍者衣装に身を包んだ約5メートルの大たぬきは、5月末まで信楽駅で観光客をお迎えします。



▲忍者による大たぬきの忍者衣装の着せ替え

No.5 心を込めて、丁寧に 新茶の初摘み

今年県内で初となる「新茶初摘み」が4月26日、水口町の茶園で行われました。

今年は4月に入って気温が上がったことから例年より早く新茶初摘みが行われました。「茶葉の成長は良好で、うまみのあるいいお茶が期待できる」と茶園の代表は話していました。

汗ばむ陽気の中、摘み子には中島市長をはじめ、市新規採用職員とJAこうかの若手職員らが忍者姿で参加し、柔らかい新芽を丁寧に摘み取りました。

収穫された茶葉は5月上旬からこくと香りの深い甲賀のお茶として店頭に並びます。



▲茶摘みを行う中島市長と忍者姿の摘み子